

東京医大整形外科医師  
鹿島アントラーズチーフドクター

# 香取 庸一 氏 (高校30期)



写真は2011年1月、アジアカップの準決勝・韓国戦で骨折した香川選手の怪我の状態について報道番組で解説する香取医師です。

香取氏は立高時代も、進学先の東京医科大学でも、サッカー部に所属し、主将として活躍しました。54歳となる現在もなお、医局のサッカーチームの主力選手としてゴールを決めています。そんな香取氏だから、選んだ道はスポーツ医。東京医大病院の整形外科で、日々治療や手術にあたっています。

また、香取氏は東京医大病院での勤務と並び、鹿島アントラーズのチームドクターも勤めています。Jリーグ創設当初から20年余り、ずっとアントラーズの選手たちの健康を管理し、怪我を治療し、見守り続け、今ではチームドクター達のチーフも務めています。サッカーをこよなく愛し、試合経験も練習量も豊富な氏だからこそ、トップアスリート達の治療ができ、選手にあった選択肢も示せるのでしょう。国内のサッカー3大タイトル(Jリーグ、ナビスコカップ、天皇杯)において、最多優勝回数を誇る上に、三冠と三連覇をも達成しているアントラーズを、陰で支えてきたのです。

シーズン中はもとより365日責任の重い激務に追われる氏ですが、その合間を縫って、選手達の練習に混じりボールを追い駆ける時間が、原動力となっているのかもしれませんが。

『普段あまり知られていない世界ですが、スポーツ好きの皆さんに興味を持ってもらえたら嬉しいです』とのことでした。